

# 復興まちづくりキャンプ2019

あなたは被災者です。  
いま、あなたが必要です。

東京が大きな災害にみまわれたとき、何が必要で、何をしなければならないのか。

暮らしとまちの復興をめざして私たち自身が「復興まちづくり」に立ち上がるために、

被災したその「7日後」「3か月後」「3年後」という設定で、

公園を震災後のオープンスペースに見立て、

復興のプロセスを模擬体験する宿泊型の研修キャンプをおこないます。

舞台は、夏、都立小金井公園です。

あなたの参加をお待ちしています。

開催日：2019年7月13日(土)14日(日)15日(月・祝)の3日間(2泊3日)

場所：都立小金井公園 つつじ山広場(東京都小金井市)

主催：復興まちづくりキャンプ2019実行委員会 事務局 株式会社地域計画連合

協力：東京消防庁小金井消防署、公益財団法人東京都公園協会、公益社団法人日本女医会、災害復興まちづくり支援機構(予定)、株オリエンタルコンサルタンツ、株良品計画、株スノーピーク、大塚製薬株、エム・ピー・エス株、三菱自動車工業株

後援：東京都、小金井市、毎日新聞、NPO法人日本都市計画家協会、西東京市(予定)、小平市(予定)

復興まちづくりキャンプ2019

## プログラム

### Step 1 つくる

7月13日(土)

被災7日後(避難生活期)

仮の住まい基地をつくる

下町、都心、山の手、郊外、などの4地域のコミュニティを想定して、運動会テントを活用した寝場所づくり、トイレ、話し合いの場の工夫、運営ルールづくりなどを体験します。夕食は共同炊飯です。

### Step 2 すむ・かたらう

7月14日(日)

被災3か月後(復興始動期)

仮設市街地を体験する

全国の被災地復興リーダーを招いた緑陰セミナーを開催。仮設集会所、仮設店舗、仮設事務所、仮設子ども塾などを体験。「地域協働復興」をいかに実現するかを学び、復興まちづくりについて話し合います。

### Step 3 かんがえる

7月15日(月・祝)

被災3年後(本格復興期)

復興への事前準備を考える

各コミュニティごとに復興活動を整理し、復興にいたるまでの活動のイメージや課題を発表。「復興の事前準備の必要性」について理解し、復興まちづくりキャンプ合同宣言をおこないます。最後にみんなで協力して仮設市街地の撤収をおこないます。

## 申込方法

◎参加費：3日間全プログラム(5食分の食費込み)

おとな 5000円

こども 1000円(小学生以下)

◎参加条件

・3日間(2泊3日)の全プログラムに参加できる方、または宿泊しないで3日間の全プログラムに通って参加できる方

・こども(小学生以下)だけの参加はできません。

・下記の申込内容を記入し、参加申込先にメールまたはFAXにて参加をお申し込みください。指定の口座への参加費振り込み確認後に、参加了承のお知らせを通信いたします。

◎申込内容

①参加者氏名②参加者住所③性別④生年月日⑤携帯電話番号⑥メールアドレス⑦テント持参可否⑧食物アレルギー有無

◎参加申込先

事務局：(株)地域計画連合

メール RCP@rpi-h.co.jp

FAX 03-5974-5770

◎プログラム当日参加費(14日のみ)

おとな 1日1000円/半日500円

・事前申し込みは不要です。

・こども(小学生以下)だけの参加はできません。

◎問い合わせ先

Tel 03-5974-2021

復興まちづくりキャンプ2019実行委員会

事務局：(株)地域計画連合(担当：石山・柳坪)